

すこやかであるために

— 円環する生・老・病・死 —



鉄造異形神像懸仏(蕨巻町 雷電神社蔵)
直径15cmの神さま

2026.6.20(土) ▶ 8.16(日)

主催：岩手県立博物館・公益財団法人岩手県文化振興事業団 会場：岩手県立博物館 オザワ工業ぎやらりー（特別展示室）

● 開館時間

9:30~16:30 (入館は16:00まで)

● 休館日

6月22日(月)・29日(月)
7月6日(月)・13日(月)・21日(火)・27日(月)
7月28日(火)~8月16日(日)まで休まず開館

● 入館料

一般360円(170円)・学生170円(90円)・高校生以下無料

※()内は20名以上の団体割引料金

・学校教育活動で入館する児童生徒の引率者は申請により入館料免除となります。
・療育手帳、身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方、及びその付添いの方は無料です。
・岩手県子育て応援パスポート所持者で、パスポートに記載のあるお子様とご一緒に来館された場合、入館料免除となります。



岩手県立博物館
IWATE PREFECTURAL MUSEUM

〒020-0102 岩手県盛岡市上田字松原敷34
TEL 019-661-2831 FAX 019-665-1214
<https://www.2pref.iwate.jp/~hp0910/>





医心方 巻22婦人部 [部分] (東京国立博物館蔵・Image:TNM Image Archives)
現存する日本最古の医学書



蛸薬師如来像 (盛岡市・大泉寺蔵)
タコの足を供えて病氣平癒を祈る仏さま



イタコの口寄せ道具 (西和賀町・碧祥寺)
人々の暮らしに寄り添った女性の仕事道具



老人六歌仙図 [部分] (花巻市博物館蔵/写真提供)
「出しやばりたがる 世話やきたがる…」 老いの変化を詠んだ狂歌

老人六歌仙
しわがよる ほろの出来る 背はちぢむ
あたまははげる 毛はしるくなる
手はふるふ あしはよろつく 歯はぬける
耳は聞えず 目はうとふなる
身にあふは 頭巾をまり巻つて 目がね
たんぼ おんじやく しゆびん 孫の手
くどふなる 氣みぢかになる 愚痴になる
心はひかむ 身はふるふなる
聞たがる 死とむながる 淋しがらる
出しやばりたがる 世話やきたがる
又しても 同じ咄しに子をほめる
達者自慢に人はいやがる



コナサセ道具 (二戸市浄法寺歴史民俗資料館蔵/二戸市教育委員会写真提供)
無資格ながらお産を介助し命をつないだ女性の仕事道具

日本では古くから健やかな成長と長寿、そして安らかな最期を願い、さまざまな習わしが行われてきました。本展では岩手に生まれ、岩手に生き、岩手で亡くなった人々の生・老・病・死にまつわる歴史や習俗を概観します。

■ 関連事業

● 講座:当館講堂 13:30~15:00 当日受付・聴講無料

「考古学者はなぜ墓が好きなのか -企画展へのはなむけ-」

日時:2026年6月14日(日) 講師:金子 昭彦(当館学芸員)※展覧会開幕前です

「死生観について考古学者が知っている二、三の事柄 -墓・葬送・他界観-」

日時:2026年6月28日(日) 講師:井上 雅孝氏(滝沢市埋蔵文化財センター)

「生と死への向き合い方 -中尊寺供養願文と即身仏-」

日時:2026年7月12日(日) 講師:中村 安広氏(岩手大学人文社会学部)

「民俗芸能と祈り」

日時:2026年7月20日(月・祝) 講師:岩館 岳氏(紫波町教育委員会)

「住民の力を信じた村長 深澤晟雄 -沢内村の生命尊重行政-」

日時:2026年7月26日(日) 講師:加藤 和夫氏(深澤晟雄の会)

「追憶の肖像 -死者を描くこと-」

日時:2026年8月9日(日) 講師:羽柴 南枝氏(奥州市教育委員会)

■ 利用のご案内

● 開館時間

9:30~16:30 (入館は16:00まで)

● 会期中の休館日 ※7月28日(火)~8月16日(日)まで休まず開館

6月22日(月)・29日(月) / 7月6日(月)・13日(月)・21日(火)・27日(月)

● 入館料

常設展の入館料でご見学いただけます。詳しくは当館のホームページをご覧ください。・高校生以下無料

- ・学校教育活動で入館する児童生徒の引率者は申請により入館料免除となります。
- ・療育手帳、身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方、及びその付き添いの方は無料です。
- ・岩手県子育て応援パスポート所持者で、パスポートに記載のあるお子様とご一緒に来館された場合、入館料免除となります。

● 展示解説会:当館オザワ工業ざらりー(特別展示室) 当日受付・要入館料

日時:2026年8月1日(土)・8月7日(金) 14:30~15:30

定員:先着20名程度

● ミュージアムシアター:当館講堂

当日受付・視聴無料

「自分たちで生命を守った村(実写/35分)」

日時:2026年8月1日(土) ①13:30~ ②14:30~

協力:深澤晟雄の会(フィルム提供)

定員:140名

● ワークショップ:当館

当日受付・要入館料

「手から手へ 知恵を伝えるSANBALーム in 県立博物館」

日時:2026年7月25日(土) 10:00~15:00

講師:一般社団法人岩手県助産師会



- お車をご利用の場合
東北自動車道 盛岡ICから約30分 滝沢中央スマートICから約20分 滝沢ICから約20分
- 路線バスをご利用の場合
盛岡駅前11番のりば、または盛岡バスセンター12番のりば(monaka前)発、基幹バス「松園バスターミナル」行または「松園営業所」行に乗り、「松園バスターミナル」で支線バスに乗り換え、「県立博物館前」下車、徒歩約5分。「松園バスターミナル」から県立博物館までは徒歩約20分。

岩手県立博物館
IWATE PREFECTURAL MUSEUM

〒020-0102 岩手県盛岡市上田字松屋敷34 TEL 019-661-2831 FAX 019-665-1214

https://www2.pref.iwate.jp/~hp0910/

